

## 声なき声を聴く イザヤ 42:1-9

2025. 2. 2、丘の上 NO. 742  
春日部福音自由教会 山田豊

一般的に、「声なき声を聞く」というのは、表立たない意見を文字通り聞いてあげたり、弱い立場にあったり悲しみの中にいる人々の気持ちに寄り添うことを意味します。これは大切なことですが、本日の説教は、神の言葉を心に聴くということでお話しいたします。

旧約時代において、神の言葉は預言者や指導者によって語られてきました。その一人であるイザヤは、バビロン捕囚という国家存亡の荒野のような中で、神の言葉を語ります。40章から53章には、主なる神の僕について語られています。これは、イエスキリストが苦難の僕として人々の贖いをなしてくださる救い主であり、再び来られる王であることを示す預言ともなっています。それは、マタイ 12:18-21 やルカ 4:17 - 22 に、預言の言葉の実現としてイエスが現れたことが記されているからわかります。

ここで注目したいのは、2節の「彼は叫ばず、言い争わず、通りでその声を聞かせない。」というみ言葉です。イエスはその公生涯において、多くのたとえをもって神の国のことを語りました。鞭と綱をもって、神殿で商売人や両替人を追い出したこともありました。それなのに、「声を聞かせない」というのです。これは、私たちが聞くべき言葉をしっかりと聞くように、私たちにチャレンジしている言葉ではないでしょうか。実は、詩篇に「話しもせず語りもせずその声も聞こえない。しかしその光芒は全地にそのことばは世界の果てまで届いた。」とあるように、神の言葉は全地に満ちているのです。その言葉は、静けさの中で聞くことができるのです。バアルの預言者を打ち負かした後、自分のいのちが狙われていると知ったエリヤは、山の洞穴に逃げ込み、心も体も疲労困憊し、引きこもってしまいました。神の声に励まされたいと思ったことでしょう。その神の声は、地震や火が過ぎ去った静けさの中に、かすかな細い声として聞こえてきました。また、黙示録には、第七の封印を解いたとき、「天に半時間ほどの静けさがあった」とあります。静けさの中にこそ、神の言葉は聞こえてくるのです。

イスラエルツアーの折り、現地ガイドの姉妹が「荒野というヘブル語には、“言葉、ダバール”という単語が入っており、“荒野こそが神の言葉を聞くところである”という意味なのです」と話してくださいました。これは目が開かれる、いや、心の耳が開かれる言葉となりました。

神の言葉が聞かれない騒がしい人生の荒野のようなどころであっても、静まる時、心のうちに語られる神の言葉を聴くことができるのです。

引用聖句

イザヤ 53:7 彼は痛めつけられ、苦しんだ。だが、口を開かない。屠り場に引かれて行く羊のように、毛を刈る者の前で黙っている雌羊のように、彼は口を開かない。

マタイ 12:18-21 「見よ。わたしが選んだわたしのしもべ、わたしの心が喜ぶ、わたしの愛する者。わたしは彼の上にわたしの霊を授け、彼は異邦人にさばきを告げる。19 彼は言い争わず、叫ばず、通りでその声を聞く者もない。20 傷んだ葦を折ることもなく、くすぶる灯芯を消すこともない。さばきを勝利に導くまで。21 異邦人は彼の名に望みをかける。」

マタイ 3:17 そして、見よ、天から声があり、こう告げた。「これはわたしの愛する子。わたしはこれを喜ぶ。」

使徒 17:24-25 この世界とそこにあるすべてのものをお造りになった神は、天地の主ですから、手で造られた宮にお住みにはなりません。25 また、何かが必要ないかのように、人の手によって仕えられる必要もありません。神ご自身がすべての人に、いのちと息と万物を与えておられるのですから。

ルカ 4:17-22 すると、預言者イザヤの書が手渡されたので、その巻物を開いて、こう書いてある箇所を目を留められた。18 「主の霊がわたしの上にある。貧しい人に良い知らせを伝えるため、主はわたしに油を注ぎ、わたしを遣わされた。捕らわれ人には解放を、目の見えない人には目の開かれることを告げ、虐げられている人を自由の身とし、19 主の恵みの年を告げるために。」20 イエスは巻物を巻き、係りの者に渡して座られた。会堂にいた皆の目はイエスに注がれていた。21 イエスは人々に向かって話し始められた。「あなたがたが耳にしたとおり、今日、この聖書のことばが実現しました。」22 人々はみなイエスをほめ、その口から出て来る恵みのことばに驚いて、「この人はヨセフの子ではないか」と言った。

詩篇 19:3-4 話しもせず語りもせずその声も聞こえない。4 しかしその光芒は全地にそのことばは世界の果てまで届いた。神は天に太陽のために幕屋を設けられた。

1 列王 19:12-13 地震の後に火があったが、火の中にも【主】はおられなかった。しかし火の後に、かすかな細い声があった。13 エリヤはこれを聞くと、すぐに外套で顔をおおい、外に出て洞穴の入り口に立った。すると声がして、こう言った。「エリヤよ、ここで何をしているのか。」

黙示録 8:1 子羊が第七の封印を解いたとき、天に半時間ほどの静けさがあった。